

# 第42回山口県学校環境衛生研究大会 報告

大会実行委員長 年光 久美

大会副実行委員長 河田 尚己

第42回山口県学校環境衛生研究大会を7月26日(木)、山口県総合保健会館にて開催いたしました。

県内の幼稚園・小中高の校長・養護教諭・栄養教諭の学校関係者、健康福祉センター・教育委員会の県職員、学校薬剤師が参加。また、日本薬剤師会常務理事・日本学校薬剤師会部会長の村松章伊先生をはじめ、山口東京理科大学薬学部長の武田健先生、県外からは、京都府薬剤師会からの参加もいただきました。

今回から、研究協議会を午前と午後2回に分けました。学校現場での実践発表、学校環境衛生検査の基礎の発表もあり、今後の学校薬剤師業務の参考になる発表がたくさんありました。



## 第1課題

「学校環境衛生、保健委員会、薬品管理」

～よりよい学校環境を目指して～



## 第2課題

「給食」

～給食を食べるまでの衛生管理～



第1課題では、学校環境衛生検査の一部改正について、定期検査の実施の様子、理科薬品の管理について、第2課題では、給食センター・給食受配校の衛生管理について、第3課題では、小学校・高校での薬物乱用防止教室の実践、学校薬剤師と連携した「おくすり教育」の実践について、第4課題では、学校プールの衛生的管理、長期休み明けの水質管理、水筒・冷水器の衛生管理についての発表があり、協議しました。

### 第3課題

「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育、くすり教育」

～薬物乱用防止等の正しい知識を学び、健全な生活を送ろう～

### 第4課題

「水質・フール」

～飲料水およびフールの衛生管理について～



### 特別講演

「子供を依存症から守るには～薬物からゲーム・スマホまで～」

予防医療研究所代表・ゆる〜い思春期ネットワーク主宰

磯村毅先生

最後に県民公開講座として名古屋から磯村毅先生をお招きして、特別講演を賜りました。子供たちを依存症から守るにはどうしたらよいか。今の子供たちがどのような危険な状態であるか。依存症は回復はするが決して治癒しない為、予防していくことの大切さについてお話いただきました。優しい口調の磯村先生のユニークで温かい空気を感じる講演でした。



毎年、平日開催となり、学校薬剤師にとっては参加しがたい日程となっておりますが、学校薬剤師として活動していく上でとても参考になる発表ばかりです。今後の皆様のご参加をお待ちしております。各協議会の報告・磯村先生のPPT資料は「山口県学校薬剤師会」のホームページをご参照ください。

【参加者】(学校薬剤師 35名)

特別講演…224名(うち当日参加31名)

第1課題…83名

第2課題…61名

第3課題…83名

第4課題…49名